

はるかなる悠久の響

ロシア音楽の魂

モスクワ・クアルテット

Moscow Quartet



Grand Prix Concert 2010
グランプリ・コンサート

2008年 第6回
大阪国際室内楽コンクール&フェスタ
メニューイン金賞 受賞
フォークロア特別賞

別府大学創立60周年記念

別府大学 第15回 室内楽の夕べ

11/9 Tue.
PM6:30開場
PM7:00開演

全席自由 / **2,500円**(税込)
(未就学児のご入場はお断り致します)

会場 / **別府大学大分キャンパス
文化ホール**

主催/TOSテレビ大分・日本室内楽振興財団 共催/別府大学・別府大学短期大学部
協賛/Daiwa House・TOYOTA・(株)オーシー・梅林建設(株)・三光建設工業(株)・別府大学後援会・別府大学同窓会
助成/財団法人 ローム ミュージック ファンデーション

◆チケット販売所/ローソンチケット TEL (0570) 084-008 (Lコード82636) ローソン各店/チケットぴあ TEL (0570) 02-9999 (Pコード113-400)
セブンイレブン各店 iichiko総合文化センター 1Fインフォメーション/イープラス(PC・携帯) ファミリーマート・セブンイレブン各店
大分キハ会館 TEL (097) 538-3111

◆お問い合わせ/TOSテレビ大分事業部 TEL (097) 537-5515

演奏曲目

- G.ロッシーニ : 「セビリアの理髪師」序曲
- P.サラサーテ : ビゼー「カルメン」幻想曲
- I.フロロフ : 「ボギーとベス」の主題による幻想曲
- S.ラフマニノフ : エレジー&イタリアンポルカ
- N.パガニーニ : ヴェネツィアの謝肉祭
- ロシア音楽メドレー : カリンカ、カチューシャ、ボルシュカポーレ、ステンカラージン、
ヴォルガの船曳歌、百万本のバラ、モスクワ郊外の夕べ
- 他 ロシア作曲家の曲5曲 都合により、演奏曲目を変更することがあります。

9/4
Sat. 10:00~
発売開始!



ロシア文化フェスティバル
2010 IN JAPAN

モスクワ・クアルテット (ロシア)

Moscow Quartet



モスクワ・クアルテットは1997年に、アレクサンドル・ツィガンコフ(ドムラ)とインナ・シェフチェンコ(グースリ&ピアノ)、ヴァレリー・ザジーギン(バラライカ)とラリーサ・ゴトリブ(ピアノ)の2組の音楽家夫婦で結成されました。アレクサンドル・ツィガンコフとヴァレリー・ザジーギンは、ロシアは元より海外でもそれぞれの妻とのデュオで数多くのコンサートを展開している国際的に有名な音楽家です。インナ・シェフチェンコは元々ピアニストですが、グースリ(ロシア由来の擦弦楽器)の演奏技術を習得し、クアルテットで演奏する時はこのロシアの民族楽器で演奏しています。

第6回大阪国際室内楽フェスタでの優勝後も、同クアルテットのメンバーは、一つのコンサートの中でデュオとクアルテットの演奏を組み合わせた音楽活動を続けています。高いプロ意識と情熱的な演奏が「モスクワ・クアルテット」のコンサート活動を大変ユニークなものにしています。レパートリーの大半を占めるのは、ロシアの作曲家の曲目ですが、人気のあるクラシック曲を編曲したものや、ロシアや各国の民謡も積極的に取り入れて演奏しています。

アレクサンドル・ツィガンコフとヴァレリー・ザジーギンはロシアの芸術家として最高の称号である『ロシア人民芸術家』(日本の文化勲章・人間国宝に相当)の称号を与えられています。インナ・シェフチェンコとラリーサ・ゴトリブは『ロシア功労芸術家』の称号を有しています。アレクサンドル・ツィガンコフは積極的に作曲活動もしており、また同クアルテットの演奏曲の編曲もしています。メンバーは皆、グネーシン音楽アカデミーを卒業しており、現在は世界でも有名なこの学校の教授として学生たちに、民族音楽からクラシック、オリジナルの室内楽まで幅広いジャンルの音楽を指導しています。



アレクサンドル・ツィガンコフ (ドムラ)
Alexander Tsygankov

シベリアの町、オムスク生まれ。幼少のときマンドリンを習い、後にロシアが誇る民族楽器「3弦ドムラ」に転向。1972年、モスクワの第1回民族楽器国際コンクールで優勝。オシポフ国立アカデミー民族楽器オーケストラのソロ奏者である。一方、ドムラのための作曲を多数行い、その革新的な曲は、若手ドムラ演奏家のスタンダードとして定着し、意欲的な若手演奏家により、積極的に演奏されている。ロシア国内では「ドムラキング」といわれている。



ヴァレリー・ザジーギン (バラライカ)
Valeriy Zazhigin

1979年、全ロシア民族楽器演奏コンクールで優勝。ザジーギンの芸術的手腕、豊かで高い感情に訴える音色はロシアの音楽批評家たちによって繰り返し賞賛されてきた。新聞「チュムニ・ブラウダ」(1981年1月31日付)は次のように述べている。「ショスタコヴィッチ、パガニーニ、サラサーテの作品はバラライカのために書かれたものではないが、V.ザジーギンの手にかかるこの3弦の楽器がまるでヴァイオリンやギターのように多彩に鳴り響いていた」と。



インナ・シェフチェンコ (グースリ&ピアノ)
Inna Shevchenko

シベリアのオムスクのシェバリン音楽学校、モスクワのグネーシン音楽アカデミー卒業。ドムラ奏者のアレクサンドル・ツィガンコフとの結婚を機に、デュオを結成。以来、30年以上、ロシアはもとより、アメリカ、日本、スウェーデン、ドイツ等世界各国で2000回以上のコンサートを開催し好評を博す。その成功の半分は、彼女の深い芸術性と優れた演奏技術によるものである。また彼女は、ピアノだけでなく、ロシアの民族楽器「グースリ」の優れた演奏家でもある。



ラリーサ・ゴトリブ (ピアノ)
Larisa Gottlib

モスクワ生まれ。グネーシン音楽学校及びロシア音楽アカデミーを卒業。全ロシア国際コンクール入賞者。夫ザジーギンとのデュオ・リサイタルでは、ロシア、ヨーロッパ、南米各国の聴衆から大喝采を受け、彼女自身も、音楽の微妙なニュアンスを表現できる熟達のパイニストとして高く評価されている。ロシアでの民族楽器コンクールでは、彼女の絶妙なピアノ伴奏のお陰で数多くの若手演奏家が入賞している。現在、グネーシン音楽アカデミー教授。

■別府大学大分キャンパスご案内■

☑会場には駐車場(500台収容)があります

